



いしかわ労福協

第 586 号 2016年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 西田 満明
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行

友誼団体 蘇州市総工会 第15次業務考察団が来日



参集された皆さんと

蘇州市総工会と石川労福協は、1986年に交流を開始し、隔年での訪問、受入れを行ってきた。

第15次の訪日団は、陳文涛法律工作部長を団長に、顧咏梅女工部長、張曉波弁公室副主任、

交流 30 周年記念植樹

石川労福協は、11月14日(月)金沢市駅西新町3丁目地内の姉妹都市公園内の蘇州市庭園傍の芝生園地内において、蘇州市総工会との友好交流30周年を記念した植樹を行った。



西田満明理事長が、「1986年に交流を開始し、相互に内部事務不干渉としつつ、相互に団員を派遣し友好交流を進めてきた。友好交流は深化し、相互の信頼を築くまでとなってきた。今日までに築いた関係が、更に40年、50年と永きに交流が継続することを祈念して、植樹を行いたい。」と挨拶した。

そして、石川労福協を代表して西田理事長、柚木光副理事長、光林邦彦副理事長の3名、蘇州市総工会を代表して訪日団団長の陳文涛法律工作部長、顧咏梅女工部長の2名、金沢市を代表して八田誠経済局長の計6名が、紅白のリボンが巻かれたスコップを用いて2本の金木犀を植樹し、将来に向けた友誼、信頼を約した。

姜志芳張家港市総工会副主席、夏巍吳中区総工会副主席、趙天江蘇州市市級機関工会副主席の6名が来日し、石川労福協や事業団体等と交流を深めた。

今年は交流を始めて30年の節目の年となることから、石川労福協、訪日団、金沢市の代表で記念植樹を行った。

● 11月14日(月)

到着予定時間1時間遅れで小松空港に来日した代表団一行は、相互交流30周年を記念して実施する記念植樹のため、始めに姉妹都市公園に向かった。



姉妹都市公園にて

会場では、石川労福協の西田満明理事長が「交流30年の経過と更なる友好と親交を将来においても誓う」と挨拶をした後、西田理事長、陳団長、顧氏、八田誠金沢市経済局長、柚木光石川労福協副理事長、光林邦彦同副理事長の6名が、蘇州市の花である金木犀2本を植樹した。



意見交換会

事業の紹介と連合石川における春闘など、労働者の賃金等、雇用条件の改善に向けた取り組みと成果を報告説明した。

その後、記念品の交換、集合写真を撮影し、フレンドパーク石川を後にした。

フレンドパーク石川に移り、連合石川、北陸労金、全労済などの会員団体の代表者とともに



記念品交換

宿泊先の ANA クラウンプラザホテル金沢において、歓迎レセプションを開催した。

オープニングとして、盛本還童氏の尺八、平野雅楽澄氏の箏による演奏で、もてなした。



西田理事長が、「蘇州市総工会第15次業務考察訪日団の来日を熱烈歓迎する。友好交流30周年を迎えることができたのは、相互の信頼関係により、交流のルールを大切にしてきたことが大きな要因である。これからも永く交流を続けるためにも、築きあげてきた信頼関係を大切に交流を継続していきたい。」



西田理事長

陳団長は、「今日まで互いに交流を深めてこられたのは、石川労福協と蘇州市総工会が互いに築いた友好と信頼の深さにある。これからも交流を継続して中日友好に努めたい。」と、それぞれの挨拶に続いて、清水克也石川県商工労働部次長、八田金沢市経済局長より、蘇州市総工会第15次業務考察訪日団の来日を歓迎し、日中友好に石川労福協とともに継続して取り組まれない旨の祝辞を述べた。



陳文涛団長



清水石川県商工労働部次長



八田金沢市経済局長

柚木副理事長が、「30年の交流が更に永きに続くよう祈念する」として乾杯を発声し歓迎の宴が始まった。

その後、狩山久弥北陸労金副理事長・前石川労福協理事長が「第15次業務考察訪日団の来日を歓迎する。2013年に共に訪中した石川労福協第13次訪中団の団員とともに、これからも日中友好に協力していきたい。」とスピーチした。狩山北陸労金副理事長は、交流の深さを表すように自然に盛り上がり、予定時間を過ぎるほどに親交が深まった。



柚木副理事長



狩山北陸労金副理事長

光林副理事長が、「今後の訪日団の一行が、本日以降の任務日程を無事にこなされて帰国されることを祈念する。」として一本締めで宴を仕切り、歓迎レセプションを終了し、交流の初日を終えた。



光林副理事長

● 11月15日(火)



石川県ILAC視察

石川県が今年開設した「いしかわ就職・定住総合サポートセンター (ILAC)」を訪ねた。就職、UIターンの促進誘導の必要性や取り組み状況など、センターの仕組みと活動の説明を受けた後、施設を見学し、石川県ならではの取り組みを視察した。その後、金沢城公園を訪ねたが、生憎の雨で河北門の中からの見学となったが、出てきたころには雨も止み晴れ間が覗く天候の下、城内を散策した。特別名勝「兼六園」に移り、紅葉真っ盛りの庭園で色づく木々に気持ちを和ませつつ数日前から始まった雪つり作業を見学した。

石川県が今年開設した「いしかわ就職・定住総合サポートセンター (ILAC)」を訪ねた。就職、UIターンの促進誘導の

必要性や取り組み状況など、センターの仕組みと活動の説明を受けた後、施設を見学し、石川県ならではの取り組みを視察した。その後、金沢城公園を訪ねたが、生憎の雨で河北門の中からの見学となったが、出てきたころには雨も止み晴れ間が覗く天候の下、城内を散策した。特別名勝「兼六園」に移り、紅葉真っ盛りの庭園で色づく木々に気持ちを和ませつつ数日前から始まった雪つり作業を見学した。



金沢城公園にて



兼六園にて

午後からは、石川県商工労働部長を表敬訪問し、普赤清幸部長より、石川県の交流都市である江蘇省との交流の深さも紹介されながら、蘇州市との関係が説明された。



普赤石川県商工労働部長表敬

石川県庁を後に、金沢21世紀美術館に移動、水の無い不思議なプールを内外双方から体験したほか、雲を測る男を見学した後、山野之義金沢市長を表敬訪問した。



金沢21世紀美術館にて

山野市長は、「縁深い蘇州市からの訪問を歓迎する。労働者同士の交流は文化・経済の交流にも発展し有意義なものである。金沢をゆっくりと堪能されたい。」と歓迎の挨拶をした。



山野金沢市長表敬

市内最後の訪問地として、ひがし茶屋街を訪ね、金箔貼体験を済ませてから、街燈に照らされた街の風情を体感していただいた。



金箔貼体験

● 11月16日(水)

北陸新幹線「かがやき」号で、東京へ移動。これまでより、短時間で東京に移動できることで、首都東京における滞在時間は長くなり、東京スカイツリーの展望回廊から大都会東京を俯瞰した。残念ながら、富士山は雲に隠れ、明日への楽しみとなったものの、十分満喫していただいたものと感じた。



東京スカイツリー見学

● 11月17日(木)

東海道新幹線「こだま」号で、富士山が間近に見える新富士駅に移動。晴天の下でそびえ立つ雪化粧をした富士



本宮浅間大社

山を遠望した。富士宮市の本宮浅間大社を参詣し境内から見える富士山、富士の雪解け水が地下に浸透し毎秒3.6tもの水が湧き出る「湧玉池」を見学し、その後、「白糸の滝」「音止の滝」でマイナスイオンを全身に浴び、旅の疲れを癒した。



白糸の滝

その夜は、石川労福協が運営する会館も所属する、労働者福祉会館協議会メンバーである滋賀県のRiseville都賀山に宿泊。宿泊先では、訪日団の6名に通訳、随行員、添乗員が一堂に会し、今回の訪日における友好交流を総括し有意義に歓談した。

● 11月18日(金)

関西国際空港に向けての移動の途中、阿倍野・天王寺を散策し、新世界では、こてこての大阪を体感しつつ、串カツ、お好み焼きと焼きそばを昼食代わりに食して大いに楽しんで、一路空港へ向かった。



大阪 通天閣・新世界

空港到着後、団員は搭乗手続きを済ませ、「今後とも友好交流を深めていきましょう。」と言葉を交わし、保安検査場へと歩を進め、皆さんの無事な帰国を願いつつ5日間の交流を終えた。

石川労福協 事務局長 上野貞彦

これからの行事予定

(11月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
11月26日	土	勤文協 第66回勤労者美術展受付(～27日)	フレンドパーク石川
30日	水	〃 〃 〃 開会式(～12月4日)	金沢 21世紀美術館
〃	〃	さわやかU 理事会	労済会館
12月4日	日	勤文協 第66回勤労者美術展 表彰式・合評	金沢 21世紀美術館
5日	月	労福協 LSC 第13回 LSC 研修会	ANA ホリディイン金沢スカイ
6日	火	労福協 自治体要請 金沢市長要請	金沢市役所
〃	〃	中部会館協 第2回幹事会(～7日)	富山市
8日	木	労福協 LSC 福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議	フレンドパーク石川
16日	金	〃 第7回三役会議	〃
〃	〃	食とみどり水 NW 総会	〃
17日	土	さわやかU 餅つきボランティア	聖ヨゼフ苑作業所
〃	〃	消費者支援ネットワークいしかわ第3回理事会	フレンドパーク石川
21日	水	労福協 第8回理事会	〃
28日	水	フレンドパーク石川互助会総会	〃
1月5日	木	連合石川・労福協 2017 新春の集い	金沢都ホテル
14日	土	県勤労者互助会 会員交流映画鑑賞会	ユナイテッド・シネマ金沢
30日	月	中部労福協 第4回幹事会(～31日)	三重県

労福協第7回理事会



第7回理事会

労福協は、11月8日(火)フレンドパーク石川において第7回理事会を開催した。

理事会には、理事監事ら15名が出席し、これまでの取り組みとしてライフ・サポートセンターや子育て支援ネットによる活動、2017年

度自治体要請行動、中央・中部労福協研究集会、第14回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会などの取り組み状況の報告を了承した。

また、本年度中間決算報告及び同監査報告、役員の交代、2016生活底上げ福祉強化キャンペーンにおける奨学金制度の拡充を求める賛同要請、第13回ライフ・サポートセンター研修会などの取り組みを提案どおり承認した。

さらに、2017年度自治体要請における石川県知事、金沢市長への要請日程についても確認した。

そして、来日が延期となっていた第15次蘇州市総工会業務考察訪日団の受入れについて、交流30周年を記念した植樹を行うほか、労福協・連合石川・福祉事業団体との意見交換会、歓迎会の開催とその対応が提案承認され、間近に迫った来日に向けての準備が整った。なお、今回の来日は11月14日(月)から18日(金)の4泊5日で6名が来日する。

石川県大衆運動活動家合祀追悼会



連合石川・石川労福協らで組織する石川県大衆運動活動家顕彰会は、11月23日(祝・水)の勤労感謝の日に第16回石川県大衆運動活動家合祀追悼会を卯辰山の顕彰碑前で開催し、政治、労働、文化の分野において平和、民主主義の発展、教育、福祉、環境等のために尽力し故人となった方を合祀追悼した。

式典には遺族ら20名が参列し、西田満明顕彰会会長(石川労福協理事長、連合石川会長)が「合祀者が生前に行ってこられた大衆運動にか

かる偉大な功績を称え、感謝申し上げます。」と挨拶し、中川博石川労福協専務理事が顕彰会設立趣意書を朗読した。湊



口洋伸連合石川事務局長が、今回合祀する1名を紹介し、芳名を記したプレートを顕彰碑に納め参列者が献花し冥福を祈った。

式典終了後、フレンドパーク石川に会場を移し、冒頭、合祀者追悼の黙祷を行った後、感謝の集いを開催した。1周忌法要にあたり出席できない遺族に代わり、労働組合運動を伴にした宮西實連合石川名誉顧問(北陸電力労組出身)より、故人の在りし日の思い出や活躍、エピソードが語られ、大衆運動の継承を確かめた。

今回合祀された方

堀 良幸さん 享年 93

北陸電力労働組合石川県支部委員長・
石川県退職者連合顧問

子育て支援ネットワーク

労福協・子育て支援ネットワークは、10月30日(日)に石川県産業展示館4号館で開催された「子育て支援メッセ2016」に出展し、子育て支援事業の紹介チラシの配布とバルーンアートをプレゼントした。



バルーン制作に勤しむスタッフ

バルーンアートは、予想以上に子ども達に人気があり、とても喜ばれ、午後4時の閉会を待たずに全てを配り終えた。

隣のブースには、北陸労働金庫石川県本部が出展し、教育や住宅などの各種ローンの紹介と相談コーナーを開設するとともに、子どもの手形を採取してのプレゼントは、親子ともども大変人気だった。秋晴れも手伝ってか、会場はたくさん親子連れで賑わっていた。

翌朝、「紹介チラシを見てファミリーサポートセンター利用補助制度を知り、申込みたい」との連絡をいただき、出展した効果が早くもみられた。

今後も、少しでも働く子育て世代のお父さん、お母さんへの支援をしていきたい。

労福協職員 紙谷加奈子

海外支援米発送式

食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、11月5日(土)フレンドパーク石川において海外飢餓支援米の発送式を行った。



支援米の積み込み

発送式には、海外飢餓支援米の取り組みに賛同する富瀬永県議会議員や政党代表者、支援米の田植えから稲刈りまで、実際に取り組んだ子ども達を含む関係者等約30名が参加し、西田満明代表と富瀬県議会議員、政党代表者等がそれぞれ挨拶した後、亀喜正事務局長が今年度における支援米の取り組み経過や収穫量などにつ

いて報告した。支援米の稲刈りの時に、子ども達が書いたメッセージを貼り付けた36袋の米袋は、輸出港に向かうトラックに積み込まれて発送され、全国から集められた支援米と合わせて贈られることとなる。

発送式に続き、支援米の取り組みで収穫した米の一部を使ったおにぎり、めった汁を参加者全員で食し、収穫の喜びと食料の大切さを味わった。

最後に西田代表より「来年も引き続き皆さんの協力で取り組みを継続し、飢餓に苦しむ海外の子ども等への一助としたい。」と今年度の取り組みを締めくくった。

なお、今年度の取り組みとしては、能登町、七尾市、小松市、金沢市の計4ヶ所において作付けし1,080kg(36袋)を収穫、アジアのカンボジアとアフリカのマリ共和国に贈られる。

生活・就労支援を強化し、 生活困窮者を地域で 支えよう!

2015年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、新たなセーフティネットの制度が全国の自治体でスタートしています。制度が機能するためには、相談だけでなく出口となる就労支援や居場所づくりなど様々な支援が不可欠です。ひとりでも多くの生活困窮者を支えるための運動展開を全国のライフサポート(相談・支援)事業で支えよう!

なんでも相談しよう! 2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン

加賀地域 LSC

第5回チャリティゴルフコンペ

加賀地域 LSC は、「第5回チャリティゴルフコンペ」を10月16日(日)に片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場で開催した。

当日は、陽ざしの強い日で、10月半ばとは思えない暑さの中、15名の参加者達は、汗ばみながら思い思いのプレーを楽しんでいた。

なお、当日寄せられたチャリティ募金15,000円は、来年3月に児童福祉事業として加賀市に寄付いたします。この様な活動を通して、今後もLSCの活動をアピールしていきます。コンペの結果は、次の通り。

優 勝：村井 紀行
準優勝：稲葉 義夫、3 位：山本 哲朗

第25回ソフトボール大会

10月22日(土)、「第25回加賀地域LSCソフトボール大会」を片山津ソフトボール場にて開催した。



高見美千代加賀LSCスポレク部長の開会挨拶に続き、来賓の加賀市議会議員林俊昭、上田朋和両氏の挨拶の後、大会のルール説明がされ、8チームによるトーナメント方式で試合が行われた。

始球式では、林、上田両議員にそれぞれバッターボックスで打っていただき、快音を残して飛ぶボールに、参加者から「うお～」の歓声と拍手で大会を盛り上げていただいた。

試合では、フェンス越えの特大家庭ランが出るなど、どの試合も熱戦となり参加者全員が楽しんだ大会となった。

試合結果は、次の通り。

優 勝：県教職員組合加賀支部
準優勝：大同工業労働組合
3 位：月星製作所労働組合
M V P：天日友彰(県教)
ハッスルプレー賞：
酢谷那枝(大同)、渡邊英菜(月星)

加賀地域 LSC 事務局長 永井 達也

輪島・穴水地域 LSC

りんご狩りと牡蠣炭火焼バーベキューツアー

輪島・穴水地域 LSC は11月19日(土)に「りんご狩りと牡蠣炭火焼バーベキューバスツアー」を総勢33名の参加で、目的地の能登島野口りんご園に向かった。



出発から生憎の雨降りりで、りんご園に着いても降り止まず、傘をさしてのりんご狩りとなったが、子どもたちは枝からりんごをもぎ取るのが初めてとあって、相当に楽しかったようだ。

終了後、2つ目の目的である「牡蠣の炭火焼バーベキュー」を国民宿舎小牧台でいただいた。殻付の牡蠣が10個、牡蠣釜飯、カキフライと牡蠣づくしの昼食をいただき、終日雨降りでしたが大変満足の日となった。

輪島穴水地域 LSC 境 薫

勤 体 協

第50回県勤労者秋季体育大会

《卓球七尾大会》

10月13日・七尾市中島体育館

◇男子

▷硬式 ①OVER LIGHT②あゆむ卓球倶楽部③コマツ、フィクスターA
▷ラージ ①白山クラブA②七尾スターズ③ななおクラブA、のときりしまA

◇女子

▷硬式 ①NOTOヤンキース侍②珠姫③NOTOヤンキース輝、勤体協
▷ラージ ①ななおクラブA②中島クラブ③勤体協、七尾スターズ

《19回グラウンドゴルフ大会》

10月23日・かほく市高松グラウンドゴルフ場

▷男子 ①内灘サンダース(内灘)②愛汗(かほく)③三七会A(かほく)

▷女子 ①志賀レディース(志賀)②宝達ファミリーB(宝達志水)③拳(津幡)

《第16回クライミング大会》

11月6日・金沢市医王山SC

◇一般

▷男子 ①船橋裕巳(野々市)②柴田将義(金沢)

▷女子 ①中島亜希(金沢)②恩田佳奈(白山)③田中弥生江(野々市)

◇シルバー

▷男子 ①本谷賢門(白山)②塚本吉弘(金沢)

▷女子 ①若林千恵(金沢)②出戸克美(白山)

◇ゴールド

▷男子 ①中島昭二(金沢)②山本永夫(金沢)③亀田行宣(白山)

▷女子 ①中村まさ子(金沢)②田中陽子(金沢)

◇オープン

▷ジュニア男子 ①折田昊斗(金沢)②長谷川涼(金沢)

▷ジュニア女子 ①本谷佳乃子(白山)②吉田麗奈(金沢)